

TNC
通信

2020
10月号

10月予定の『富ヶ丘公民館まつり』は中止に！



昨年の中国茶提供の模様

10月24日に予定されていた令和2年度の『富ヶ丘公民館まつり』は、富谷市内にあっても新型コロナウイルス感染の終息が見通せない状況を考慮し、市内全域の「公民館まつり」の中止が決定いたしました。

当会では「中国語講座」会員のご協力でご例年、「中国茶」の提供他を行い、地域の皆さんに好評をいただけてきました。明年をお楽しみに！

19日に魯迅「碑前祭」予定

魯迅先生の命日にあたる10月19日10時半から、仙台市博物館横で恒例の献花式を行います。どなたも参加できます。なお留学生との懇親会は中止です。

私の友好記憶

「優しい親切心！」 菊地 紅子

安徽省合肥市で生まれ育った私は1989年2月、中国国営企業での仕事を長期休暇で取り、親族訪問ビザで来日しました。30数年前の日本は経済バブル時期でしたので、憧れもありました(当時の中国はまた改革開放してなく、計画経済時代でしたので、外国に簡単に行けない時代でした)。学校では中国の近代歴史の日中戦争について、詳しく教えていましたので、日本人に対し、あまり良い印象を持っていないままで日本に来ました。

会話はあいさつ程度でしたので、最初の一年間は毎週一回、日本語教室で基礎を勉強しました。来日最初の勤務先は言葉があまり分かりませんでした、

正社員として2年半仕事しました。近所に住む女性同僚が歩いて会社に行く私を見て、車に乗せてあげるよと親切に言ってくれて、その後もよく乗せてくれた事。他の女性同僚も途中で乗せてくれたりした事も有りました。初めての中国へ里帰りの時、東京駅で知らない日本人が私達の3個の重い旅行ケースを持ち、階段を上ってくれて、その後さっと居なくなった事。あのやさしい日本人達が困った私を助けてくれた事を30年後の今でも鮮明に覚えて、ありがたく思っています。やさしい日本人に対し良い印象を持つようになりました。

日中友好協会に入ってから、地域でたくさんのやさしい日本人達と知り合いになり、皆さんと一緒に日中友好ボランティア活動をして、すごく楽しく、また誇りに思います。東日本大震災後、宮城県日中友好協会のメンバー達、仙台在住の中国人、中国留学生達と一緒に震災で困った日本人達に水餃子を無料提供しました。震災で困った皆さんが喜んでくれた事も思い出です。

地域では、子供達が小さい時、残業がある時、保育所への迎えが遅くなったりした事もあって、富谷保育所の先生達が嫌な顔せず待ってくれた事、長男が小学校一年生に入り、長期休み入る時期になる時、公民館の先生が一時期、毎日の朝、長男を連れて公民館に行った事、近所の人達は私が中国出身と知り、やさしく接してくれた事、学校の先生達、習いことの先生達、皆さんあちこち旅行に連れていってくれました。富谷日中友好協会の皆さんも私の両親にやさしく接してくれた事、両親は日本にすごく良い印象を持ち、日本国籍帰化した私に「中国も日本もあなたの故郷ですね」と言ってくれた事も忘れられない事です。

また女性の視点から働く、育児、地域活動を積極的に取り込み自己実現像を目標として「宮城華僑華人女性聯誼会」が発足し、参加しています。いろいろな講座また中国伝統文化イベントなど様々な活動を企画し、地域活動に積極的に参加して、日中友好交流を精力的に取り込んでいます。

コロナ状況が依然として厳しい今、人類運命共同体、互いに助け合い、協力し合う重要性を改めてと感じています。これからも日中友好の活動を引き続き頑張ります。



中国舞踊メンバーとしても活躍(左から2人目)